

平成 24 年 6 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 6 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、**好転：2.5%** **悪化：48.8%** **DI 値：▲46.3%** ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）






前年同月比は、**増加：11.3%** **減少：37.5%** **DI 値：▲26.2%** ポイント






収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、**好転：6.3%** **悪化：46.3%** **DI 値：▲40.0%** ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 6 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	▲25.0	▲66.7	▲100.0	▲83.3	▲20.0	▲50.0	▲48.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲44.4	▲50.0	▲38.5	▲55.6	▲42.8	▲44.7	▲46.3
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	組合員はイベントに対する5,000円の特別賦課金の捻出もままならない状況。改めて組合員の経営の厳しさを実感している。	パン・菓子製造業
	5月は▲1.7%と前年割れ。GW期間は対前年をクリアしたが、その後の売上が伸びなかった。6月は24日時点ではほぼ昨年とイーブンの推移。中国地域ニュービジネス協議会からの推薦で、日本ニュービジネス協議会（全国区）のニュービジネス大賞にもエントリーした。	水産食料品製造業 萩市
	先月と変わらず資材関係の価格が上がり困っている。価格の転嫁が難しく、今後どの様にコストを抑えていくかが課題だが、難しい。	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	6月も5月に続き受注減となった。国内生産品が売れないことから、国内は生産調整をせざるをえない状況になり、1割程の短縮操業をしている。今後3ヶ月間は今のままの操業をする予定でいる。海外生産比率が益々高くなりそうであるが、これも低価格品が市場にあふれているため限度がある。いずれにしても高級品の購買層が確実に減少している。	下着類製造業
	生産拠点が海外に移って、国内生産の生地や付属品等が間に合わず、仕事が出来ない状態が続き、6月下旬になり漸く動き始めたが、この間の赤字分は取り戻せない。消費税がアップすると、消費者の買い控えにより景気が後退し、売上が上がりず収益が下ることが予測され、先行きがとても暗い。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	底だ底だと言っていたが、まだまだ、下がりそうである。良い材料が全くない状況。	製材業・木製品製造業
印刷	デフレ景気のなかで市場が縮小し、同業者で過当競争となっており、その中で生き残る為、懸命に活動している。	印刷 下関市
	6月はスポット的な物件がいくつかあり、昨年同月より売上が上がったが、年度を通じての売上減の穴埋めには至らなかった。7月、8月の受注が読めないの、暑さ同様、厳しい夏になりそうだ。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材68%、路盤材87%、再生材103%、全体では76%。	砕石製造業
	出荷量は前年同月比、前月比とも、岩国地区(基地関連工事の進展)の大幅な伸びにより106%。岩国、下関地区の出荷量が前年比、前月比とも上回っているものの、他の4地区は低調。現時点では、セメント・骨材	生コンクリート製造業

	等の資材調達は、特に問題は生じていない。価格も安定して推移している。	
一般機器	車両関係からの見積もり等引合はあるものの、金額での折り合いが難しく受注にはつながらないケースが散見される。また、短納期対応等が顕著であり収益確保が難しい状況である。	一般機械器具製造業 柳井市
	各組合員とも、7月までの受注は確保しているが、それ以降の見通しがたて難い。原材料費の値上げは、現在動きなし。	一般機械器具製造業 防府市
	受注量は前月と同じで減少しており、売上増加は今後も見込めない。	一般機械器具製造業 宇部市
	設備操業度は上がって来ており、7月も同様に上がる見込みだが、9月以降は不透明な状況。市場の低価格・短納期に対応し競争力を付けなければならない。海外への仕事の流れが急速になりつつあり、仕事が無くなって来ている。また、電力節減の折、外部調達・部品調達の納期に今後の影響が心配される。漁業関連品で東日本大震災の影響による受注増加に対応されていた組合員の休日勤務は6月からなくなった。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	受注高が急激に落ち込んでおり、売上高も当初見込みより下って、苦しい経営を余儀なくされている。当面、明るい材料が見当たらない。	鉄道車両・同部品 製造業
卸売業	低迷持続の状態である。	各種商品卸売業 柳井市
	各業種とも売上高はやや増加するも、収益環境は厳しい。石油価格の下落傾向を受けて、流通関係・食品関係の運賃コストが減り、自動車販売・修理（特に中古販売）ではやや回復基調である。周南地区は、大手化学企業の定期修理が9月～10月頃に予定されており、多忙になることが予想される。	各種商品卸売業 周南市
	卸売業については、利益の減少で苦しい状況が続いている。団地全体では自動車関連が好調の様子。さらに、団地外から自動車のモータープール用に団地の空地利用の希望が寄せられている。	各種商品卸売業 山口市
	ガソリン価格が約5円程度、値下がりしており経費削減となっている。建築関係卸については、工事の減少で出荷減となっており、今後の見通しが立たない状況で苦慮している。	各種商品卸売業 下関市
小売業	6月は資生堂の旧製品の回収があり、不要在庫が減少した。定期的に在庫品の回収が有り助かっている。	化粧品小売業

	依然として厳しい状況に変わりはない。「無償引き受け」や「出張買い取り」の規制が強まり、貴金属を扱うのにどのような影響がでるかが気になるが、悪質な違法業者がいなくなることを望んでいる。地金の相場もなかなか安定せず、買取量が低下しているように感じる。	中古品小売業
	購入の1件当たり単価が前年比10%も低下している。デフレの影響もあるが、ネット通販によるものの影響の方が大きいように思う。	各種商品小売業
	靴の店舗が近々退店の予定で閉店セールを行っており、現在、新規テナント誘致に努力している。又、6月末に酒のディスカウント店の既存店が退店し、7月1日より同業種の業者が店舗を引継し営業する。これまで無かった配達業務も行うとの事なので、これまで以上の売上増を期待しているが、全体で6月は売上、客数共に前年割れの厳しい状況下である。尚、ヤマダ電機の客層がかなり見受けられるようになってきたので、既存店舗の更なる営業努力に期待している。	各種商品小売業 長門市
商店街	中高年の顧客は年金支給日でさえ買い控えている。梅雨の季節で人出が無く、売上が下がっている。10数年続けた理事長を先月で退任。20年弱続けた市商店街連合会の役員も退任。職を離れてみると、商店街の良い所や悪いところ等が違った視点で見えてくる。	山口市
	年金受給者にとっては、受給額の減少、介護保険料の増加、医療保険の負担増等で生活費に直接響き、節電ムードが節約感へと移行し、ますます、デフレ感が強まっている。消費税増税が決まりそうだが、一般消費者はますます生活しにくく、小売業を含む中小零細事業者には明るい日々は程遠い。	萩市
サービス業	梅雨の季節となり雨が多くて客足が伸びず、各サロンも困っている。暑くなってくると又様子が変わってくるのではないかと期待している。	美容業
	組合員の業況は悪い。業界全体として何とか体質改善を図りたいので、営業方法を変えていくことも視野に入れながらの対応も急がれる。	理容業
	新車販売はエコカー補助金の効果により好調であるが、整備専門業者は整備在庫台数の減少が続いていることから、組合では今年度は技術対応だけでなくCS向上対応のためのセミナーを開催する予定である。	自動車整備業
	引き続き、エコカー減税の恩恵を受け、横ばいで売り上げは推移している。	自動車整備業

	<p>どんどん厳しい状況になってきており、経営持続が厳しい状況にある。</p>	<p>情報サービス業 宇部市</p>
	<p>新規及び代替の受注を追いかけている状況、ユーザの状況も良くなってきているとは思えない。秋以降の受注確保が課題。</p>	<p>情報サービス業 萩市</p>
	<p>1 飲食業界は景気動向に左右される。防府・周南・宇部は大手企業の景況に左右され、湯田温泉では観光客の増減に左右される。また、料理店の宴会顧客が居酒屋に流れ、可処分所得の低減を居酒屋の大型チェーン店が支えるという需給バランスへの変化も伺える。経営の2極化（大手と零細）、繁栄の2極化（繁盛店と廃業店）等時代ニーズを読み間違えると大変な差が出る。大手も収益性が低いので一人勝ちとは行かない様子。やはり飲食業界は大手、零細の区別なく地域との共生が必要である。7月は知事選を控え、6月は不変というところ。</p> <p>2 飲食業界は人が存在する以上、食を通じて不滅だが、人の数だけ職種・業態が多様で、統一・均質が難しい。健全経営には地域との共生が不可欠で、地域の活性化こそ飲食業繁栄の基である。政府の景気対策はよく見えないが、日本の行く先はどうなるのか、時代ニーズの光明が見えないことが、不況の最大の問題と思う。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>消費税増税、将来の年金不安、健康保険料の負担増など、全て消費不安をあおることばかり。これでは、世の中に、お金を使う人がいなくなる。宿泊客は対前年比6%減少。</p>	<p>旅館業 萩市</p>
	<p>前年は震災の影響で西日本に客足が伸びたが、今年は例年に戻り、苦しい6月状況であった。宴会状況も伸びが無く、唯一、今まで訪問の無かった地域からの割安企画で集客があったことが良かったことである。日帰り客もお土産を買う金額が減り、全体的に低迷状況。ビジネスも日帰り出張に変わり、日数も減少傾向にある。厳しい運営を強いられているとの施設の声ばかりで、設備投資・人件費も抑え、ギリギリの運営をしているとの声が多い。廃業をされる施設もあり、「続けるほど、赤字が増える」と寂しい話をされる。政治のニュースが暗すぎて、消費拡大の気持ちにならず、観光どころではない。落ち着いた話題と、緩やかな回復を待っている業種である。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
<p>建設業</p>	<p>仕事量があるところと、そうでないところの地域の格差が少しあるように思う。ほとんどの組合員は、当座の耐震工事を当てにしている様子であるが、低入札に</p>	<p>鉄骨工事業</p>

	<p>よる落札の仕事がほとんどなので、なかなか売上が上がらない。今後は、下請けの仕事をするのも考えものであると嘆いている組合員も少なくない。</p>	
	<p>中電への工事申請 5 月 3 7 9 件（当支部分 3 1 7 件）前年同月 3 1 6 件（同 2 7 9 件）。太陽光発電への申請 3 0 件、オール電化申請 2 6 件（前年は太陽光 1 0 件、オール電化 1 7 件）。LED 街路灯への切替・新設申請は 5 1 件（前年は 6 8 件）。</p>	電気工事業
	<p>“建設業における社会保険未加入問題への対策について”各企業に対し、国土交通省のアンケート調査が始まりつつある。</p>	左官工事業
	<p>例年多くある公共事業の繰越工事が、本年度は大幅に減少している。民間工事の見積依頼は若干増加傾向にあるが、どれも低価格で受注に繋がらない様子。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>1 件の公共工事の発注があったが、競争が激しく低価格の入札結果となった。工事を入札しても、入札できなくても売上が上がらない状況で、なんとか改善されないものだろうか。</p>	土木工事業 周南市
	<p>2 4 年 6 月の受注高は、対前年同月比 2 5 %。今年度の累計は、対前年比 4 6 %。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>運輸関係は、輸送形態は依然として変わらぬものの輸送量に少しずつ変化が見られる。国内需要量は震災後に比べると若干増となったが、輸出量は横ばい。中国等への量が減少。前年対比は 0. 8 % 増。飲料用容器材は横ばいながら、7 月あたりから増と予想している。鋼材等の値下がり懸念されている。油価格変動が激しい為、輸送業者は一喜一憂の経営状況にある。油関係は 4. 7 円の値下げ。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>6 月も前年度に比べれば順調に推移、売上也伸びている。燃料価格も下降気味にある。しかしながら、軽油価格はガソリン価格ほどのものではなく、また、価格下落は世界情勢、経済の不安が根底にあり、このような急激な下落は、歓迎だけでは済まされないのが現状である。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運輸業についていえば、4 月は昨年同月比で 9 割までは回復してきたが、5 月は再び数値は悪くなってきた。組合の中の会社で園芸用の土を販売している組合員は業績が回復している。しかし、これもその月の天候次第で少し悪天候が続けば売上は落ちる。そういう意味でも多少売上高が伸びても翌月がどうなるかが分からない、非常に不安定な状況が各組合員に見られる。まさに「一寸先は闇」の状態。倉庫においても、今は満庫と思ったら、翌月はかなりの荷物が出ていき、空庫</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>が出てきている。</p>	
	<p>トラックの稼働状況は5月と変わりなく、良くない状況が続いている。梅雨に入り天候が悪く、運行にも良くない。ETC事業は悪い状況の中だが、順調である。燃料に関しては下がり気味で、6月分軽油価格は、1ℓ当たり：一般SS価格120～118円になり、もう少し下がるのではないかと思う。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比マイナス5.3%（4月1日～5月20日分）。4月1日～30日分は▲4.6%と減少。5月1日～20日分についても▲6.5%と減少している。物価が上昇し、景気が回復しているという発表があるが、当地域のタクシー業界ではますます景気が悪化しているとしか思えない。6月になって急激にタクシー利用が減少している。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。イラン問題等でブタンやプロパンのCPが2、3月に続き4月分は大幅に急騰した。6月は低下する予定だが、5月のタクシー会社の購入単価は前年比+20%と過去最高となり、収益状況をたいへん厳しいものになっている。</p> <p>昨年も震災余波等で売上が減少しており、今年は国体等の大型イベントによる需要増加の見込みもない状況であり、今後ますます景気が後退するのではないかとと思われる。周南市の大手工場の事故後の復旧等、新たな事業が早く開始される事が切望される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>